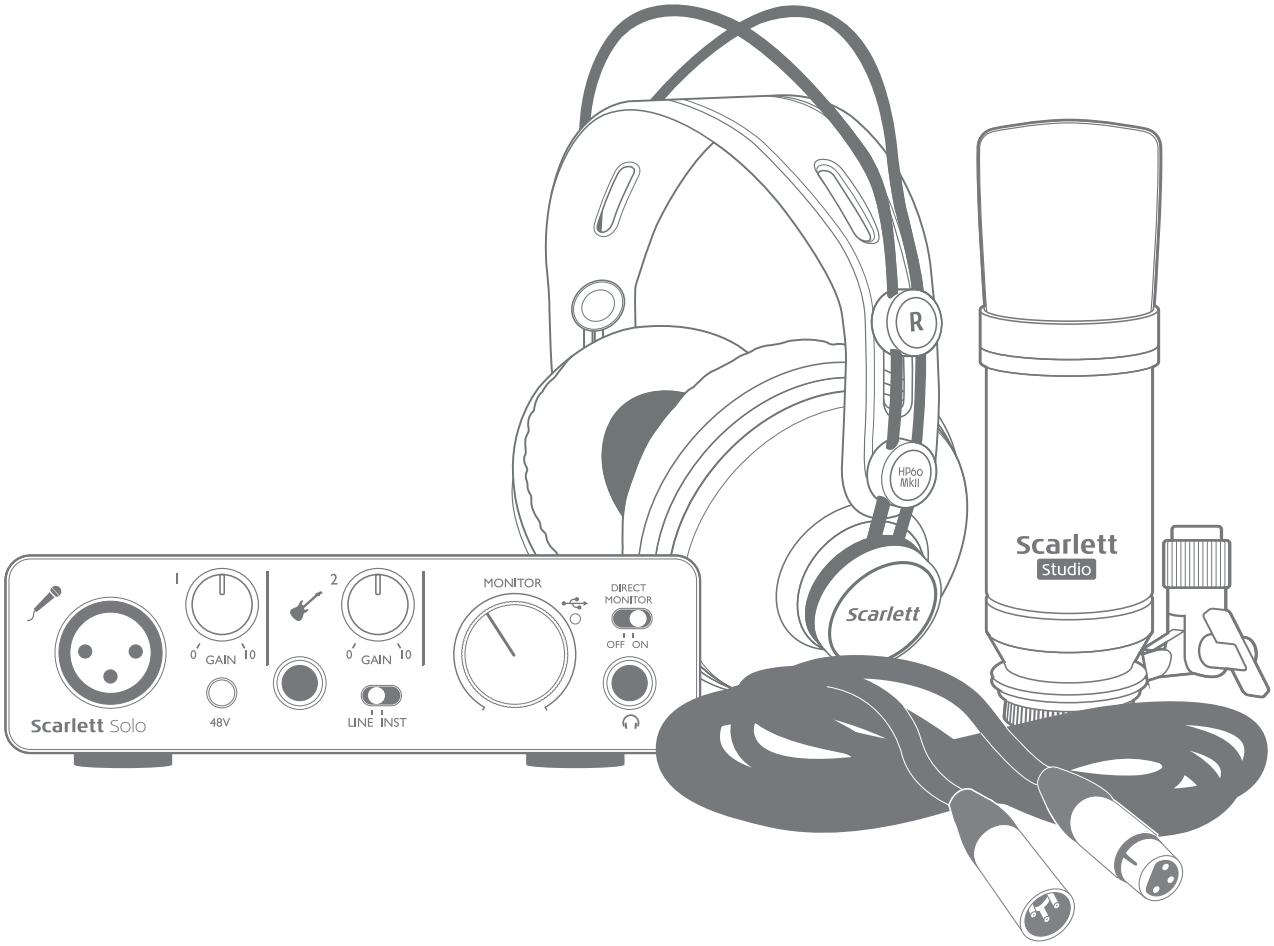
Scarlett Solo Studio

ユーザーガイド



Focusrite®

www.focusrite.com

FFFA001430

目次

概要 3
はじめに 3
特徴 3
同梱物 4
システム要件 4
Mac OS 4
Windows 4

さあ、始めましょう 5
ソフトウェアのインストール 5
Mac OS 6
Windows 6
Scarlett Solo の電源を入れる 6
Scarlett Solo を接続する 7
DAW でのオーディオセットアップ 7
使用例 9
マイクや楽器の接続 9
マイクを使用したレコーディング 10
ダイレクトモニタリング 12
ヘッドフォンモニタリング 12
Scarlett Solo をスピーカーに接続する 13

各部の名称と特徴 14
フロントパネル 14
リアパネル 15

仕様 16
性能仕様 16
物理的特性と電気的特性 17
Scarlett Studio CM25 MkII マイクロフォン仕様 18
Scarlett HP60 MkII ヘッドフォン仕様 18

トラブルシューティング 19

著作権表示と法定通知 19

概要

はじめに

第 2 世代の Scarlett Solo Studio をご購入いただきありがとうございます。 本製品は、 Focusrite プロフェッショナル用オーディオインターフェースシリーズの 1 つで、 高品質 Focusrite アナログプリアンプが搭載されています。 マイクや楽器から直接レコーディングする際に、 高品質なオーディオをお使いのコンピュータへルーティングするシンプルでコンパクトなソリューションとなります。 また、購入された製品を登録して頂ければ、Ableton Live Lite レコーディングアプリケーションを含むエキサイティングな新しいソフトウェアをダウンロードすることが可能です。

Scarlett インターフェイスの第二世代シリーズの開発に際しては、 パフォーマンスと機能セットの両方が強化されました。 最大 192kHzのサンプルレートに対応するほか、 低ノイズ化やゲインの大幅な増加など様々な改善によりマイクプリアンプの性能が向上しました。 ヘッドルームが追加されてインストゥルメント入力がアップグレードし、 大きなレベルのギターのパートもクリッピングせずに録音することができます。 Mac とはクラスコンプライアントなので、 接続すればすぐにお使い頂けます。 そのため、 Mac ユーザーの方はドライバーをインストールする必要がありません。

このユーザーガイドでは、Scarlett Solo の操作上の特徴を十分に理解していただくために本製品の詳細を説明しています。 Scarlett Solo Studio の構成と付属ソフトウェアが持つすべての可能性を十分に理解するために、コンピュータベースのレコーディングが初めてのユーザーの方、 既に経験のある豊富なユーザーの方に関わらず、 全ての方に本ユーザーガイドを最後まで読み通して頂くことを推奨しています。 メインのユーザーガイドのセクションに必要な情報が記載されていない場合は、 https：//support.focusrite.com/を参照してください。 本サイトには、 テクニカルサポートに寄せられる一般的な質問の回答集が掲載されています。

特徴

Scarlett Solo Studio は、 第 2 世代の Scarlett Solo オーディオインターフェース、 スタジオクオリティを実現する Scarlett CM25 MKII コンデンサーマイクロフォン、Scarlett HP60 MKII モニタリングヘッドフォン、さらに高品質オーディオをクイックな方法でコンピュータにレコーディングし始めるために必要なすべてのソフトウェアによって構成されています。

Scarlett Solo ハードウェアインタフェースは、 Scarlett Solo Studio を構成する主要なユニットです。 本製品を使用して、 CM25 MkII（または他の）マイク、 楽器またはラインレベルのオーディオ信号を Mac OS または Windows コンピュータに送信することができます。 Scarlett Solo 入力部から送られる信号は、 お使いのオーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体を通して「DAW」と称します）へ最大 24 ビット、192kHzの解像度でルーティングすることができます。 同様に、DAW のモニター出力もしくはレコーディングされた出力は、Scarlett Solo より再現されます。

Scarlett Solo の様々な出力は、 HP60 MkII ヘッドホンや、 お使いのアンプやスピーカー、 パワードモニター、 アナログミキサーまたはその他のアナログオーディオ機器に接続することができます。 Scarlett Solo 上のすべての入出力は、 レコーディングや再生のために直接 DAW との間でルーティングされますが、ユーザーのニーズに合わせて DAW 内部でルーティングを構成することも可能です。

同梱物

Scarlett Solo Studio パッケージには次の製品が含まれています。

- Scarlett Solo（第2世代）オーディオインターフェース
- Scarlett Studio CM25 MkII コンデンサーマイクロフォンとマイクホルダー
- Scarlett Studio HP60 MkII ヘッドフォン
- 以下のオンラインリソースにアクセスするためのバンドルコード*:

  Windows用 Solo USB ドライバ
  Focusrite Red 2 & 3 プラグインスイート
  Softube Time and Tone バンドル
  Pro Tools | First
  Ableton Live Lite
  LoopMasters サンプルライブラリ
  Novation Bass station
  多言語対応ユーザーガイド

- XLR マイクケーブル（赤色、3m）
- USB ケーブル
- Getting Started Guide および重要な安全情報*

* ギフトボックス内側に記載された情報

システム要件

Mac OS

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートが搭載された Apple Macintosh とインターネット接続*

OS：Mac OS X 10.10（Yosemite）またはOS X 10.11（El Capitan）

Windows

USB 2.0 または 3.0 対応のUSBポートを搭載した Windows とインターネット接続*

OS：Windows 7（32 または 64 ビット）、8.1 および 10

* オンラインリソースのダウンロードには、インターネット接続が必要となります。

さあ、始めましょう

重要：Windows ユーザー - お使いのコンピュータに Scarlett Solo を接続する前にインストーラを実行するようにしてください。

第 2 世代 Scarlett Solo は Mac の標準ドライバ（クラスコンプライアント）で動作します。そのため、ドライバのインストールは不要です。

ソフトウェアのインストール

Scarlett Solo に必要なすべてのソフトウェアおよび複数の強力かつ便利な追加ツールは、Focusrite ウェブサイト www.focusrite.com/registerからダウンロードできます。「バンドルコード」はお使いの Scarlett Solo に付属のギフトボックス内に記載されています。また、シリアル番号は本製品の下側に記載されています。これらの情報は、ウェブサイトのダウンロードリソースにアクセスする際に必要となります。本手順に従うことで、最新バージョンのソフトウェアを入手することが可能です。

DOWNLOADING THE INCLUDED SOFTWARE

To download the included software, you will need to register your Scarlett Solo at focusrite.com/register and enter BUNDLE CODE below when prompted.

PRODUCT BUNDLE CODE XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX

For an in depth video tutorial, please go to focusrite.com/get-started

Pour obtenir des instructions en Français sur la façon de commencer, veuillez-vous rendre sur focusrite.com/downloads

Für eine Kurzanleitung zum schnellen Start in deutscher Sprache besuche bitte focusrite.com/downloads

Para la guía de inicio en Español, diríjase a focusrite.com/downloads

所有使用说明中文版,请上网站:focusrite.com/downloads

日本語での説明書はこちら: focusrite.com/downloads

시작 방법에 관한 한국어 가이드는 focusrite.com/downloads 에서 찾으실 수 있습니다.

1.お使いのブラウザで、www.focusrite.com/register/にアクセスします。

2. 画面上の指示に従ってシリアル番号を入力し、次に、バンドルコード（XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX）を入力します。バンドルコードはギフトボックス内側に記載されています。

3.すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品のソフトウェア製品をダウンロードが可能です。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。

4.Scarlett Solo ドライバーをダウンロードしてインストールします（Windows のみ）。画面上のすべての指示に従います。

- インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
- 再起動後、付属のUSBケーブルで Scarlett Solo をお使いのコンピュータに接続します。

本ガイドには、2016 年 5 月時点での正確な情報が記載されています。ただし、弊社はカスタマーサービスの向上に常に取り組んでいるため、この手順は変更されることがあります。内容に変更があると思われる場合は、www.focusrite.com/get-startedで最新の情報をご確認ください。

Mac OS:

お使いの OS は、コンピュータのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett Solo に切り替えます。これを確認するには、**[システム環境設定]** → **[サウンド]** に移動し、入出力が **[Scarlett Solo]** に設定されていることを確認します。Mac のセットアップオプション詳細については、**[アプリケーション]** → **[ユーティリティ]** → **[AUDIO MIDI設定]**の順に表示させて、参照してください。

Windows:

お使いの OS は、コンピュータのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett Solo に切り替えます。これを確認するには、**[スタート]** → **[コントロールパネル]** → **[ハードウェアとサウンド]** → **[サウンド]** → **[オーディオデバイスの管理]** に移動して、**[再生]** および **[録音]** が **[Scarlett Solo]** に設定されていることを確認します。

Scarlett Solo の電源を入れる

Scarlett Solo の使用には DC 電源のソースが必要です。DC 電源は コンピュータにから供給が行えるため、一本の USB ケーブルでコンピュータに接続するだけで使用が可能です。別途電源を用意するは必要ありませんのでご注意ください。

Scarlett Solo と互換性のある Mac または Windows の USB ポートから電源を得れば、問題ありません。ただし、一部のノートパソコンの USB ポートでは外部 AC 電源が内部バッテリで駆動している際の電流と比べて、同じ電流を供給できない場合がありますのでご注意ください。そのため、ノートパソコンで Scarlett Solo を使用している場合、AC アダプターでノートパソコンに電源を供給することを強く推奨します。

Scarlett Solo を接続する

> **重要 - Windows：**Scarlett Solo をお使いのコンピュータに接続する前に、ページ 5 に記載されている指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。
> これにより、ハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防止することができます。

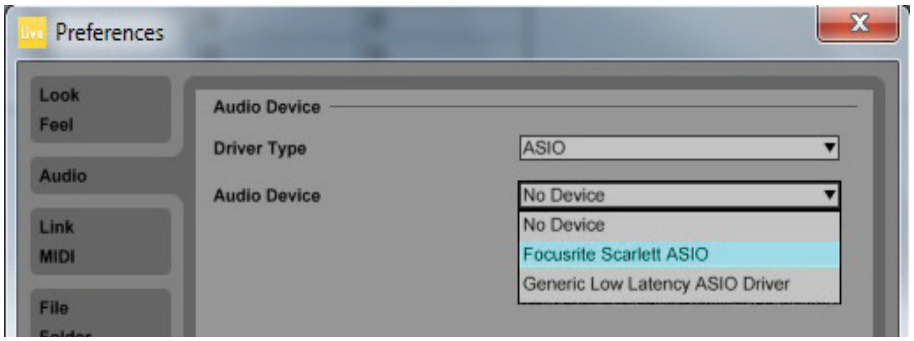
Scarlett Solo には USB 2.0 ポートが（リアパネル上に）備わっています。ソフトウェアのインストールが完了したら、付属の USB ケーブル（推奨）でお使いのコンピュータに接続します。（注意:Scarlett Solo は USB 2.0 対応機器であり、USB を接続するには、USB 2.0 対応ポートがコンピュータに搭載されている必要があります。USB 1.0/1.1 ポートでは正しく動作しません。

DAW でのオーディオセットアップ

Scarlett Solo は、ASIO または WDM 対応のすべての Windows ベースの DAW および Core Audio を使用するすべての Mac ベースの DAW と互換性があります。ドライバのインストール（Windows のみ）が完了し、ハードウェアを接続したら、お好きな DAW で Scarlett Solo を使用し始めることができます。DAW アプリケーションがお使いのコンピュータにインストールされていない場合でも本製品を使用できるように、Pro Tools および First and Ableton Live Lite が付属しています。これらのソフトウェアは、オンラインでダウンロードしてアクティベーションすることで、利用できるようになります。いずれかの DAW をインストールするには、ページ 5 に説明されるように登録済みの Focusrite の「My Product」から適切なインストーラファイルをダウンロードして保存し、画面上の指示に従って実行します。

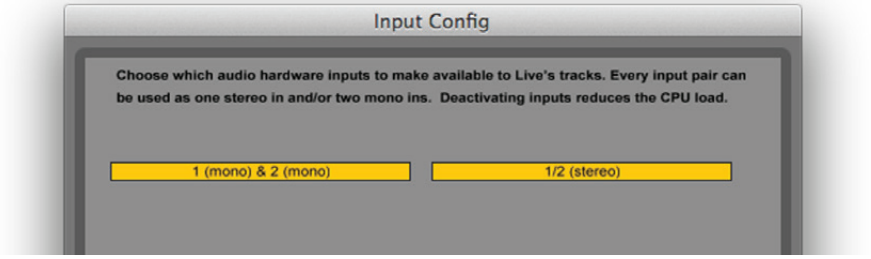
Pro Tools | First および Ableton Live Lite の操作説明は、本ユーザーガイドには記載されていませんが、それぞれのアプリケーションには、完全なヘルプファイル一式が含まれています。また、その他のリソース（Ableton Live Lite を開始するためのビデオチュートリアルを含む）はwww.focusrite.com/getting-startedからアクセスできます。

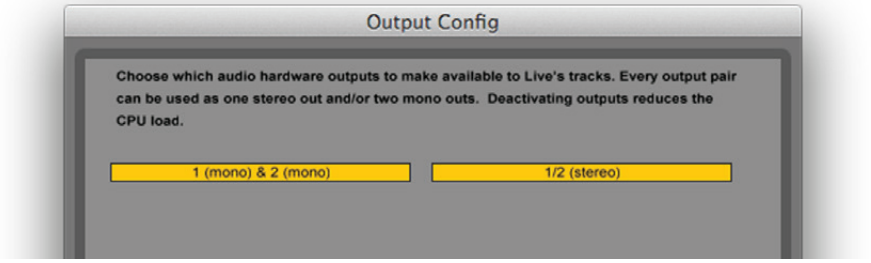
注意：デフォルトの I/O デバイスとして Scarlett Solo を自動的に選択しない場合があります。その場合、お使いの DAW の**オーディオセットアップ***ページでドライバーとして**「Scarlett Solo」**を手動で選択する必要があります。ASIO または Core Audio ドライバを選択する場所がわからない場合は、お使いの DAW のドキュメンテーション（またはヘルプファイル）を参照してください。以下の例では、Ableton Live Lite の**[環境設定]**パネル（Windows バージョンの場合）が表示されています。



*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

Scarlett Solo のドライバがオーディオデバイス*として選択されると、入力と出力が DAW の環境設定のオーディオ欄に表示されます。お使いの DAW によっては、使用する前に特定の入力または出力を有効にする必要があります。以下の 2 つの例では、Ableton Live Lite の環境設定で有効にされている 2 つの入力と 2 つの出力が示されています。





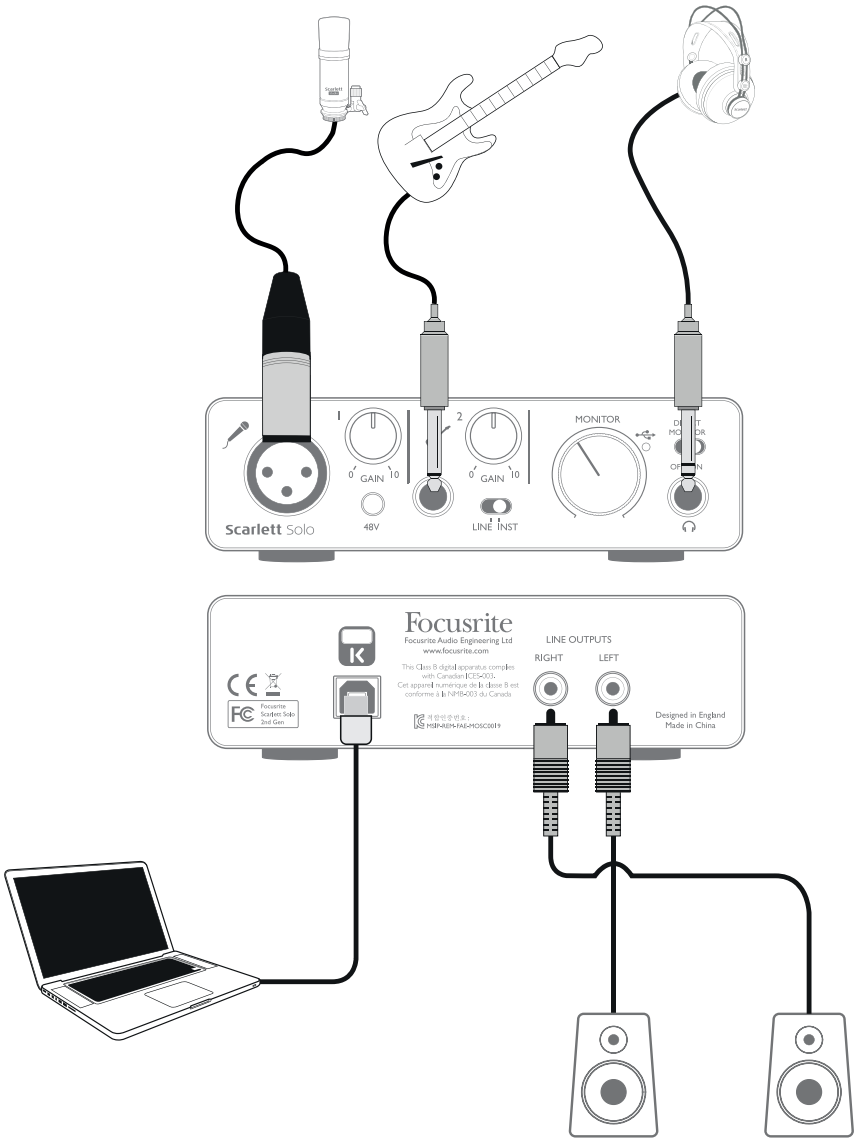
*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

使用例

Scarlett Solo は、ノートパソコンまたは Windows や Mac などのその他のコンピュータで DAW アプリケーションを使用する際に理想的なオーディオインターフェースです。

一般的な接続例が以下に示されています。

マイクや楽器の接続



このセットアップは、Mac または Windows 上の DAW ソフトウェアでレコーディングを行う際の最も一般的な構成を示しています。この場合、ヘッドフォンを使用して DAW からの再生をモニタリングしながら Input 1 ではボーカルを、Input 2 ではギターをレコーディングアプリケーションにレコーディングできます。

Scarlett Solo の入力部はフロントパネルに備わっています。Input 1 は標準の 3 ピン XLR ソケットを使用し、様々なタイプのマイクに対応するよう構成されています。付属のマイクケーブルの端に XLR オスコネクタが備わっています。Input 2 では、¼インチ（6.35mm）ジャックソケット（楽器モードの場合は 2 極、ライン入力として使われている場合は 3 極）が使用されています。また、Input 2 は、ギターやベースからの信号に対応するよう設計されています。

マイクを使用したレコーディング

Scarlett Solo Studio パッケージに付属されている Scarlett CM25 MkII マイクロフォンは、ボーカルやほとんどのアコースティックな楽器をレコーディングする際に理想的な、スタジオクオリティーのコンデンサーマイクです。付属のケーブルを使用して、CM25 MkII を Scarlett Solo の入力 1 に接続します。注意：ケーブルにはオスとメスのコネクタが搭載されています。メスコネクタ側はマイクに接続され、オスコネクタ側は Scarlett Solo に接続されます。

コンデンサーマイク（「キャパシタ」マイクロフォンと呼ばれることもあります）を使用する際には、DC 電源が必要です。ほとんどの場合、マイクが接続されているマイクプリアンプからのファンタム電源（初期のモデルのものや特定の用途のためのコンデンサーマイクには別途の電源が付属されている場合があります）を供給して使用します。CM25 MkII（またはその他のコンデンサーマイク）を Scarlett Solo で使用する際は、フロント・パネルの **48V**ボタンを押します（フロントパネルのページ 14 を参照）。その際には、次の手順に従うことを推奨します。

- 入力ゲイン[2]を最小にします
- マイクを接続します
- **48 V** ボタンを押します
- 入力ゲインを必要なレベルまで上げます

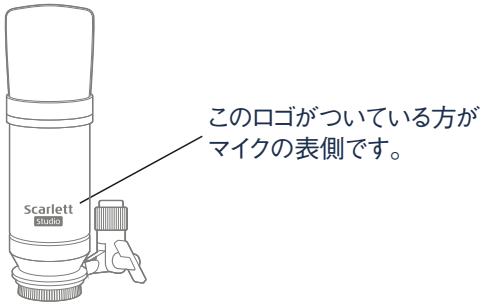
他のタイプのマイク（通常のダイナミックタイプも含む）の場合は、ファンタム電源を必要としないので、ファンタム電源が供給されるとマイクに損傷が発生する可能性があります。コンデンサーマイクによっては、より低い電圧のファンタム電源で作動するものもあります（多くの場合 15V）。マイクの仕様から、48Vで作動させても安全かどうかを確認してください。48Vに対応していない場合、適切な外部ファンタム電源を用意してください。

マイクの使用に関するルール

このユーザーガイドでは、マイクの取り扱い方やテクニックに関して詳しく記載されていませんが（詳しい内容は書籍などでご確認ください）、スタジオクオリティーのマイクを使用したレコーディングが初めての方のために、いくつかの守るべきルールを紹介します。

・必ずマイクスタンドを使用してください。CM25 MkII には、業界標準の 5/8 インチネジが備わっており、ほとんどのマイクスタンドに取り付けることが可能です。3/8 インチのマイクスタンドに取り付ける際に使用するための変換ネジも付属されています。ショート/ロングブームスタンドは、楽器店等で入手可能です。

・必ずマイクの向きを確認してください。CM25 MkII はカージオイドパターンの指向性となっているため、正面の音だけを強く拾うタイプとなっています。ですので、間違った向きで使用すると正確にレコーディングが行えません。CM25 MkII の前面は、CM25 MkII のロゴで識別できるようになっています。



・必ず適切なレコーディング環境を形成してください。レコーディング環境をしっかりと形成しない限り、レコーディングスタジオのような完璧なサウンドを録音することができません。特に、部屋が持つ反響については注意してください。反響が必ずしも悪影響を及ぼすとは限りませんが、大抵の場合レコーディングに障害を与えるものとなります。一般的にレコーディング環境は「ライブ」なもの（音の反射が多い状態）より「デッド」な状態（音の反射が少ない状態）の方が好ましいと言われています。反響のある空間でレコーディングされる方がメリットを得られルような楽器もありますが、レコーディングプロセスで後からリバーブを追加することができる一方、レコーディング時に部屋で発生していたリバーブを後から取り除くことはできません。

・テストの際にマイクに息吹きかけないでください。代わりに網目部分を軽くこすってみてください。

・マイクの位置を色々と試してみてください。ボーカルや楽器をレコーディングする際には、音源自体だけでなく、音源からのマイクの位置が影響することを覚えておいてください。また、レコーディングを行なっている部屋の環境によっても異なります。マイクを動かして、録音する対象から異なる距離や角度でレコーディングを試してみると、多様なサウンドが得られ、音質に差が出る場合があります。

・アンプによって得られる効果を録音したい場合には、ギターアンプに CM25 MkII を向けて使用してください。しかし、非常に高い音量が生成されてしまう場合があるのでご注意ください。大きな音量を得たい場合には、マイクをアンプから離すことでより良いサウンドを得られることができます。また、マイクをラウドスピーカーのコーン中央に向けた場合と縁に向けた場合とでは、サウンドが微妙に異なることにも注意してください。

・マイクは、あらゆる音を拾ってしまうことを忘れないでください。録音しようとしているものだけでなく、時計やエアコン、ヒーター、椅子が軋む音など室内のあらゆる音源をも拾ってしまいます。レコーディング時には余計な音に気付かなくても、マイクはしっかりと捉えており、後から録音を再生した際に気づく、というようなことが多々あります。不要な低域のノイズを取り除きたい場合には、DAW 上でマイクチャンネルにハイパスフィルター（HPF）を適用することを推奨します。

ダイレクトモニタリング

デジタルオーディオに関する話の中で「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあります。上記のようなシンプルなレコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーは、入力信号が録音を行っているデバイス（Mac または Windows）を通過するのにかかる時間を意味します。レイテンシーは、入モニタリングしながらレコーディングを行いたい場合に障害となることがあります。

Scarlett Solo にはこの問題に対処するための「ダイレクトモニタリング」オプションが搭載されています。フロントパネルで **DIRECT MONITOR** スイッチを ON に設定すると、入力信号が Scarlett Solo のヘッドフォンおよびメインモニター出力に直接ルーティングされます。これにより、コンピュータで再生される音と共に、ゼロレイテンシーで（つまりリアルタイムに）ご自身の音声を聞くことができます。お使いのコンピュータへの入力信号に影響が生じることはありません。

DIRECT MONITOR を ON に設定する際は、お使いのレコーディングソフトウェアがその入力（現在レコーディング中のもの）を出力へルーティングするように設定されていないことを確認してください。そのように設定されている場合、一つの信号がエコーのように遅れて聞こえるので、音声が「2 回」聞こえてしまいます。

ヘッドフォンモニタリング

Scarlett Solo Studio パッケージには、高品質ヘッドフォン Scarlett HP60 MkII が含まれています。軽量で耐久性があり、長時間快適に使用することができます。ヘッドバンドは調整可能です。

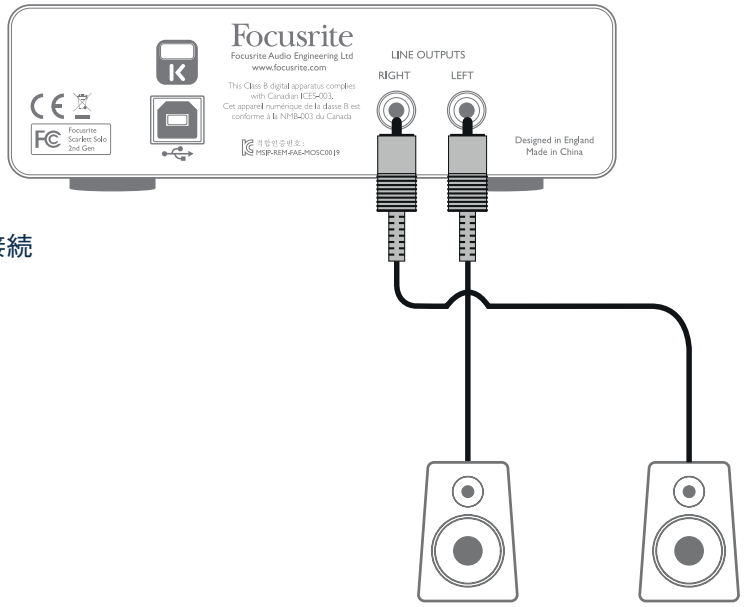
HP60 MkII には、¼インチ（6.35mm）の 3 極（TRS）ジャックプラグが備わった低ノイズの OFC（無酸素銅）ケーブルが搭載されておりこちらを Scarlett Solo のフロントパネルの右下部のヘッドフォン出力に接続します（🎧 マークで示されています）。もちろん、Scarlett Solo のヘッドフォン出力は他のモデルのヘッドフォンにも使用が可能です。

ヘッドフォンの音量は、**MONITOR** コントロールで調整することができます。

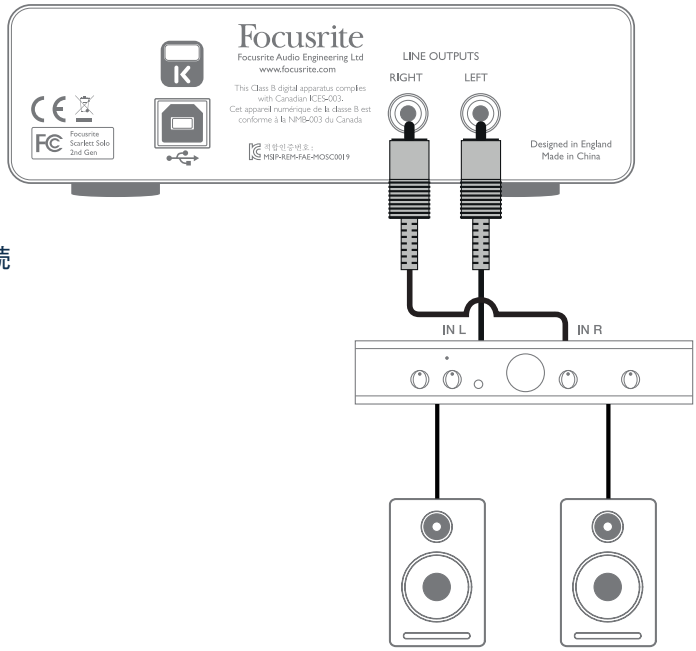
⚠ 極端に大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用していると、聴覚に障害を引き起こす可能性があるのでご注意ください。ヘッドフォンの音量は必要以上に上げないことを推奨します。

Scarlett Solo をスピーカーに接続する

リアパネルのフォノ（RCA）出力は、モニタリングスピーカーを接続する際に使用できます。アンプ内臓型スピーカー（一般的なコンピュータースピーカーやアクティブモニターなど）は、内部にアンプを組み込んでいるため、直接接続することが可能です。大型のパッシブラウドスピーカーには、別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネル出力部はアンプの入力部に接続する必要があります。



アクティブスピーカーの接続



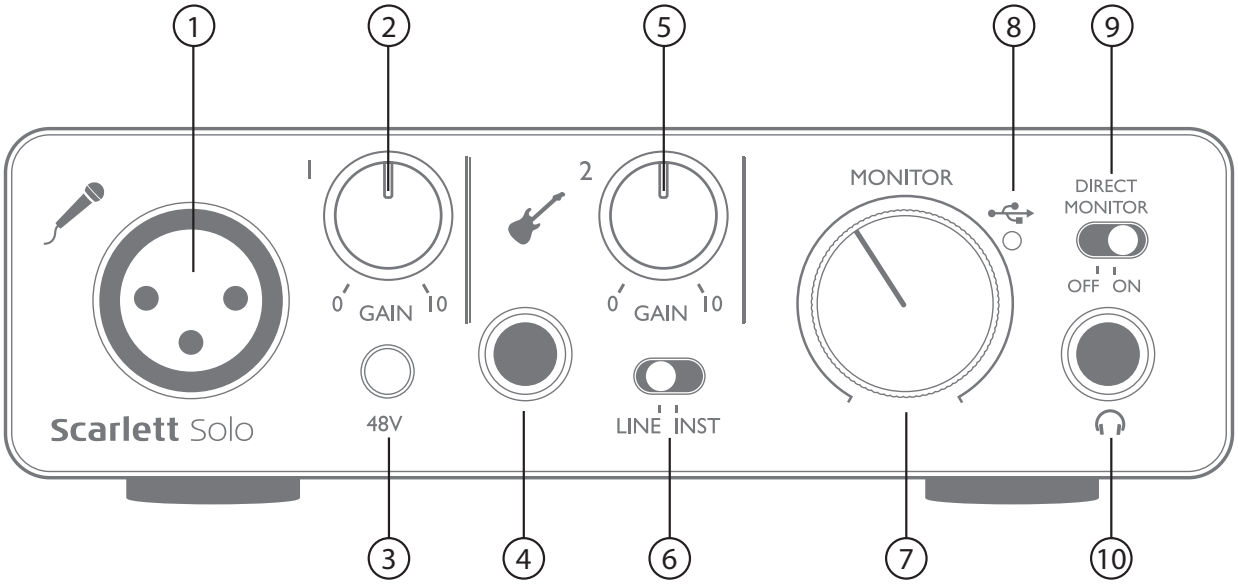
パッシブスピーカーの接続

ライン出力コネクタは標準フォノ（RCA）端子です。一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワードモニターには、フォノ（RCA）ソケットまたは（コンピューターに直接接続するための）3.5mm 3 極シングルジャックプラグ上に入力が備わっています。いずれの場合も、一端にフォノプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

注意：マイクと同時にラウドスピーカーがアクティブになっている場合、フィードバックループが生じる可能性があります。レコーディング中は必ずモニタリング用のスピーカーをオフにし（または音量を下げ）、オーバーダビング中はヘッドフォンを使用することを推奨します。

各部の名称と特徴

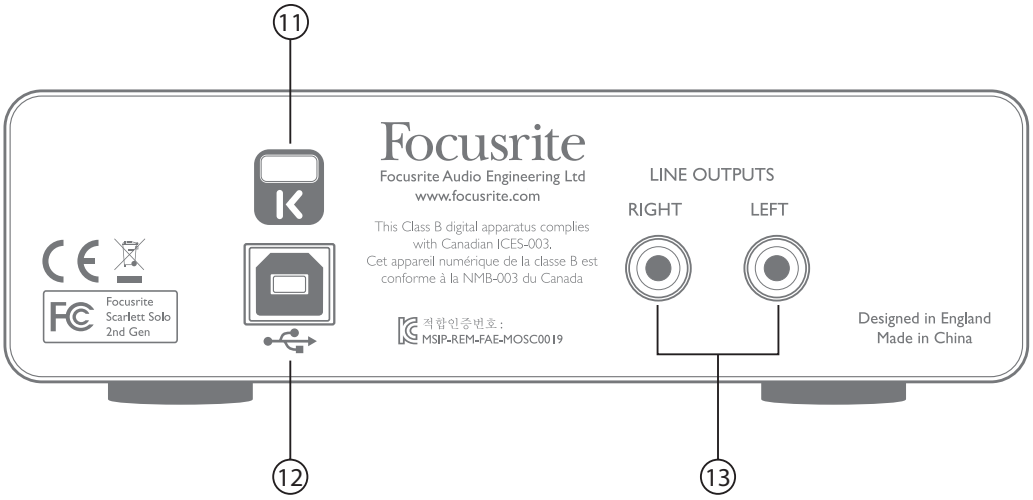
フロントパネル



フロントパネルには、マイクとライン/楽器信号用の入力コネクタ、入力ゲインおよびモニタリングコントロールが備わっています。

1. Input 1 – マイク用の 3 ピン XLR ソケット。バランス入力。
2. **GAIN 1** – Input 1 でのマイクのゲインを調整します。ゲインコントロールには、信号レベルを確認するために 2 色で示す同心円状の LED リングが備わっています。緑色は、最低-24dBFS（「信号あり」の状態）の入力レベルを示します。信号レベルが 0dBFSに達すると、リングが赤に変わり、デジタルクリッピングを示します。
3. **48V** – マイク入力のためのファンタム電源スイッチ - XLR 端子で 48V のファンタム電源を有効にできます。
4. Input 2 – 楽器（アンバランス）またはラインレベル（バランス）ソースの接続用。1/4 インチ TRS ジャックソケット。
5. **GAIN 2** – Input 2 でのライン/楽器信号のゲインを調節します。[2] 同様、ゲインコントロールには、信号レベルを確認するために 2 色で示されるLEDリングがあります。
6. **LINE/INST** – Input 2 のための楽器/ラインレベルスイッチ – 楽器またはラインレベル信号に応じてゲインを切り替えます。
7. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール - リアパネルの出力レベルとフロントパネルヘッドフォン出力の出力レベルを設定します。
8. USB LED – 本体に USB バスパワーが供給され、コンピュータ上で認識されると点灯します。
9. **DIRECT MONITOR** – 入力部からの信号を直接モニタリングする（ON の場合）か、DAW を通したものをモニタリングする（OFF の場合）かをこのスイッチで選択できます。
10. – ¼インチ TRS 出力ジャック - お使いのステレオヘッドフォンを接続します。

リアパネル



11. **K**（ケンジントンセキュリティロック）– 希望に応じて、お使いの Scarlett Solo に適切なセキュリティ対策を施します。この機能の使用方法に関する詳細な情報は、www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspxをご覧ください。
12. USB 2.0 ポート – タイプ B コネクタ。付属の USB ケーブルでお使いのノートパソコンまたはコンピュータに接続します。
13. **LINE OUTPUTS**：**RIGHT/LEFT** – 2 xフォノ（RCA）ソケット。最大出力レベル+9 dBu。

仕様

性能仕様

クロックソース	内部
対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
マイク入力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz ± 0.1dB
THD+N	<0.002%（最小ゲイン、-1dBFS 入力、 22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）
ノイズ EIN	-128dB（A特性）
最大入力レベル	+4dBu
ゲインレンジ	50dB
ライン入力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz、± 0.1dB
THD+N	<0.002%（最小ゲイン、-1dBFS入力、 22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）
最大入力レベル	+22dBu
ゲインレンジ	50dB
楽器入力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz、± 0.1dB
THD+N	<0.02%（最小ゲイン、-1dBFS入力、 22Hz/22kHz バンドバスフィルタ）
最大入力レベル	+13dBu
ゲインレンジ	50dB
ライン出力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
最大出力レベル（0dBFS）	+10dBu
THD+N	<0.002%（最小ゲイン、-1dBFS入力 1kHz、 22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）

ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	107dB（A特性）
最大出力レベル	>+10dBu
THD+N	<0.002%（最小ゲイン、-1dBFS入力、1kHz、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1	
コネクタ	バランス、フロントパネル上のメス 3 ピン XLR 経由
ファンタム電源	48V ファンタム電源スイッチ
アナログ入力 2	
コネクタ	フロントパネルの¼インチ（6.35mm）ジャックソケット INST モード：アンバランス、2 極（TS） LINE モード：バランス（TRS）
アナログ出力	
メイン出力	アンバランス、リアパネルのフォノ（RCA）x 2 経由
ステレオヘッドフォン出力	フロントパネルの¼インチ TRS ジャック
出力レベルコントロール（メインおよびヘッドフォン）	フロントパネル上
ダイレクトモニタリング	入力のゼロレイテンシーモニタリングを可能にするフロントパネル上のスイッチ
その他の入出力	
USB	USB 2.0 タイプBコネクタ x 1
フロントパネルのインジケーター	
USB 電源	緑色の LED
ゲインHalo	色で示す LED リング
重量および寸法	
幅 x 高さ x 奥行	144mm x 44mm x 119mm 5.67 インチ x 1.73 インチ x 4.68 インチ
重量	0.43kg 0.95 ポンド

Scarlett Studio CM25 MkII マイクロフォン仕様

カプセル	
タイプ	直径 20mmコンデンサーエレメント
指向特性	カーディオイド
取付	標準的な 5/8 インチメス型、3/8 インチ変換ネジ付属
性能	
周波数特性	30Hz～ 20kHz
感度	-36dB± 2dB(0dB=1V/Pa)
セルフノイズ	18dBA
最大SPL	130dB (1kHz)
SN比	76dB（A特性）
インピーダンス	150 オーム
電源	48V ファンタム電源経由

Scarlett HP60 MkII ヘッドフォン仕様

タイプ	密閉型
ドライバー直径	53mm
インピーダンス	60 オーム
感度 SPL	94dB ± 3dB
周波数特性	10Hz～ 30kHz
最大定格電力	1.2W
ケーブル長	（約）3m
コネクタ	直径 3.5 / 6.35mm（アダプター経由）
重量	280g（ケーブルを含む）

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。https://support.focusrite.com/に多くのトラブルシューティング例が掲載されています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Scarlett Solo および Scarlett Solo Studio は Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他すべての商標および商品名は各所有者の財産です。
2016 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.